

ジェイアールバス東北本部

第22号

2023年3月14日

〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡1-4-3 JR東労組仙台地方本部内
NTT:022-297-0155 JR:031-3981~3983
発責：佐藤 秀一 編集：情宣部

5.泊まり行路の泊所の施設及び休息、休憩時間に利用する休憩箇所設備等は問題の無いようにすること。

(組合) 二戸支店管内の各泊所の定期清掃と寝具等の交換をはじめ、全箇所に対して定期的な清掃が必須である
と考える。また、陸羽西線の余目駅の休憩室に複数人が換気扇やエアコンが無い部屋で同時に休憩して
おり改善を求める声がある。

(会社) 今後も職場環境改善を図っていく。寝具等については今年度中に交換できるよう準備している。余目駅につ
いては現場からあがっていないので確認する。

6.各職場において拘束時間が13時間を超えるダイヤについては健康維持、休憩時間確保のため13時間以内となる
よう改善すること。

(組合) 2024年4月の改善基準告示の変更による9時間インターバルや拘束13時間について考えを明らかにする
こと。

(会社) 今後も改善に努めていく。収入を無駄にしないよう改善基準告示の範囲内でやっていく。

7.新規行路や経路変更による乗務員に対しての訓練等については、バスによる実車訓練を基本とすること。

(組合) 今まで連絡車等での路線下見など実施してきたが、バスでの実車訓練を基本とするべきと考えている。

(会社) 現行どおりとする。軽微な変更であればドラレコの映像でも良いと考えている。

8.新規行路や経路変更等のダイヤ策定においては、最大限乗務員からの声を聞き入れた無理のないダイヤを策定す
ること。

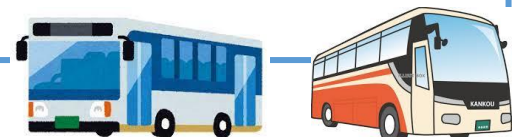
(組合) 盛岡支店の白樺号の盛岡バスセンター乗り入れによる運行時分や、白沢事業所の遅番ダイヤでの4時間
オーバー、福島支店の川俣線と高速線の組み合わせなど、運行時間に間に合わせようとする乗務員心理も
踏まえて無理のないダイヤ策定を求める。

(会社) 今後も現場から意見を参考にしながら、営業部が新規行路、経路変更等の施策を実施していく。

9.今後のダイヤ等施策について明らかにすること。

(組合) 福島支店管内の列車代行が終了するが、今後のダイヤ等施策の見通しはどうか。

(会社) 今後も単価向上の施策を実施し収益向上に努めていく。



組合員・社員の声を高め、安全で働きやすい職場を目指そう！！